

奥日光大沢でカラフトホソコバネカミキリ
を採集

下村 徹

1971年7月18日、群馬県奥日光大沢の貯木場（この材は仁加又沢などから伐採されてきたもの）で針葉樹の材上に止まっていたカラフトホソコバネカミキリ *Necydalis sachalinensis* MATSUMURA et TAMANUKI 1♂を採集したので報告する。

採集した当時はまったくオオホソコバネカミキリの♂かと思いでいたが、月刊むし19号誌上に鈴木和利氏により南アルプス二軒小屋で採集されたカラフトホソコバネカミキリが発表されて、筆者の採集品に疑問を持ち、郷遠氏に見ていただいたところ、カラフトホソコバネカミキリに間違いはないということになった。そしてまた、南アルプス産の標本と比較する機会を作ってもらい、その結果、前胸背や上翅の形状、脚の色などから確かにカラフトホソコバネカミキリ♂と同定された。

この報告にあたり、標本写真、同定など全面的に御指導していただいた郷遠氏、また貴重な標本を見せていただいた鈴木和利氏に心から深謝い

たしたい。

(〒140 品川区大井3-1-17)

秋田県でツシムムナクボカミキリを採集

斎藤 秀秋

ツシムムナクボカミキリ *Cephalallus unicolor* GAHAN は南方系の種で、これまでは東北地方からの記録を見ていない。筆者は秋田県田沢湖にて本種を採集したのでここに記録する。

1 ex., 秋田県田沢湖駅, 17. viii. 1971, 斎藤秀秋採集駅構内の貯木場の針葉樹の裏側についていたもので、他にサビカミキリ 9 exs. を採集。

なお、未発表ながら、本種は東北地方からは他に、福島県湯ノ花・青森県下でも採集されていると聞く。

(〒154 世田谷区弦巻4-2-17 くるみ荘30号)

北海道にてコジマヒゲナガコバネカミキリ
を採集

糸 久仁雄

1972年6月24日、北海道札幌市簾舞付近のゴトウヅル花上に飛来したコジマヒゲナガコバネカミキリ *Molorchus kojimai* MATSUHITA 1♀を採集した。従来、本種の北海道における記録はなかったと思われるのでここに報告させていただきます。

なお、本花上では本種の他にサドチビアメイロ・マツシタトラ・カエデノヘリグロハナ・クロサワヘリグロハナ・モモプトハナなどのカミキリが採集された。サドチビアメイロカミキリは花上よりもむしろゴトウヅル葉上を徘徊して

いる個体の方が多いようである。

(〒165 中野区江古田2-1-2)

北海道におけるナカバヤシモモプトカミキリ
の採集例

安井 正*・生島 典明**・下村 徹***

ナカバヤシモモプトカミキリ *Leiopus guttatus* BATES は北海道から九州まで分布しているが、筆者らの知る限りでは、神奈川県横浜南部の六国峠付近を除いてはあまり多いものではないと思われる。筆者らは北海道

定山溪と十勝支庁幌加から本種を採集したので報告する。

1♂, 十勝支庁三股盆地幌加, 24~28. vii. 1972, 下村徹採集(写真)

貯木場でトドマツ?の材上より多数採集したヒゲナガモモプトカミキリの中に入っていたもので、この個体は横浜市六国峠産のものと比較するとかなり黒化している。

2♀♀, 札幌市定山溪, 24. viii. 1972, 安井正・生島典明採集

